

生活支援コーディネーターニュース

～誰もがつながりあって、安心して暮らせるまち上尾～

発行 社会福祉法人上尾市社会福祉協議会
〒362-0011 上尾市平塚724番地
TEL 048-773-7155



こんにちは、生活支援コーディネーターです。

新型コロナ感染症が拡大する中、様々なことが自粛となり、多くの方が先々のことを不安に思っているのではないのでしょうか。

私たち社会福祉協議会では、経済的に困窮された方に貸し付けという形での支援に取り組んでいるところです。

そして、ボランティア活動や地域活動は、感染を予防するために、ほとんどのところで活動が止まってしまっています。

この自粛により、私たちが築いてきた「つながり」が途切れてしまうことが一番心配なことです。

「こんな時だから何かしたい」と伝えてくれる方もいらっしゃいます。今は、これまで行ってきたことを同じように再開するのではなく、つながりを絶やさないための新しい取り組みが必要です。



～つながりを絶やさないための取り組み～

①電話でつながる

- ・電話で見守り
(体調は? 困りごとは? など)
- ・必要な生活情報を伝える
- ・話し相手
- ・認知症予防
(脳トレ、連想ゲームなど)

②手紙や届け物でつながる(郵送・ポストイングなど)

- ・かわらばんを届ける
- ・必要な生活情報を紙の媒体で届ける
- ・フレイル予防、認知症予防の情報をプリントして届ける
- ・手作り絵はがきやお便りでメッセージを届ける
- ・物品をメッセージ付きで届ける(熱中症対策、感染防止対策など)

社協では、「一人じゃないんだ」と思ってもらえる取り組みを、支部社協や地域の皆さまと模索しています。

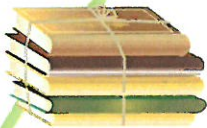
ボランティア活動とは、自らすすんで、自分の考えで、自分の身近なさまざまな問題に取り組んでいく活動です。

社会全体が困難に直面している今だからこそ、新しい発想で、自分にできることを探してみませんか。

POINT 1 寄付を通じた活動

コロナ禍においては、これまで普通に暮らしてきた多くの人々の生活に影響しています。支援を行うNPO法人や団体へ寄付をすることもボランティア活動です。

また、古切手やベルマーク、古本などを集めることや困っている世帯へ食材を届けるフードパントリーへ寄付するなど考えてはどうでしょう。



POINT 2 自宅でできる活動を見つける

手作りのマスクやかわいい手提げバックなどを施設に寄付することや、オンラインで人とつながることなど自宅にいながらもできることはいろいろあります。

自分の得意なことをボランティア活動に生かしてみてもはどうでしょうか。



POINT 3 自分の身近なところへ目を向ける

ご近所の高齢の方や障がいのある方をいつもよりちょっとだけ気にかけて、身近なところでの見守り活動をするなど今だからこそ必要な活動です。

また、今は会えない友人や趣味の仲間などに電話をかけ、安否を気遣うことも、自身を含めた大事な見守り活動となります。



POINT 4 今できることを考える

社会が困難に直面した時に、新しい発想で新しい活動がたくさん生まれています。そして、それが制度につながったことなどもあります。

半面「今は活動を見合わせる」と考えることも、正しい選択です。

私たち一人ひとりが、今の自分にできることをしっかり考え、行動することが大切です。



次回コーディネーター
ニュースやボランティア
センター通信で、
活動について、詳しく
ご紹介します。

